

授業科目名・形態	社会福祉概論Ⅰ 講義	必修・選択の別	選択※
担当者氏名	中里操・林宏二	開講期	1 年前期
		単位数	2

※看護学科必修

【授業の主題】

看護・福祉の専門職として必要な現代社会における生活障害に対する社会福祉制度の意義や理念、福祉政策の社会的意義目的と福祉システムの関係について理解する。社会福祉の理念や制度は憲法第 25 条の理念を基礎に形成されてきたことを踏まえ、社会福祉の今日的課題や課題について考える。この科目は医療・介護・福祉・教育等生活者が抱える課題を認識するための方法をと、社会福祉の共通の専門基礎知識と技術について学ぶ。この学びを通して福祉人として児童・子育て支援や高齢者・障害者の生活支援、介護・看護・教育場面などの様々な援助場面における課題解決に向けた援助者としての基礎的能力を養う。

【到達目標】

1. 社会福祉を正しく理解するために、社会福祉学固有の研究・認識方法を理解する。
2. 福祉関連科目の基礎であることを踏まえ、社会福祉制度・政策の内在的意義や目的を理解する。
3. 社会福祉制度の理念や目的、具体的なサービスの供給と利用のシステムについて理解する。
4. 福祉政策の意義や目的を理解にし、福祉政策の策定過程とその結果について分析評価できるようになる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 社会福祉学を学ぶ①（社会福祉問題と社会福祉学）（中里）
- 第 2 回 社会福祉学を学ぶ②（社会福祉問題と認識方法）（中里）
- 第 3 回 社会変動と現代社会（中里）
- 第 4 回 社会問題と社会福祉政策（中里）
- 第 5 回 社会福祉制度の発達過程①（イギリス・アメリカの福祉発達史）（中里）
- 第 6 回 社会福祉制度の発達過程②（中里）
- 第 7 回 社会福祉の理念・原理と哲学①（中里）
- 第 8 回 社会福祉の理念・原理と哲学②（中里）
- 第 9 回 社会保障・社会福祉の制度と法律・（中里）政策①（社会福祉・福祉事業と法律）（林）
- 第10回 社会保障・社会福祉の制度と法律・政策②（社会福祉の制度・政策の概念）（林）
- 第11回 社会保障・社会福祉の制度と法律・政策③（社会福祉関連制度）（林）
- 第12回 社会保障・社会福祉の制度と法律・政策④（政策と政治）（林）
- 第13回 社会福祉の課題；必要と資源「ニーズ」①（社会福祉とニーズ）（林）
- 第14回 社会福祉の課題；必要と資源「ニーズ」②（社会福祉と資源）（林）
- 第15回 授業のまとめ（総括）

【授業実施方法】 基本的には講義形式で行う

【授業準備】

前回講義内容を復讐する講義予定活動を読み専門用語概念などについて調べておく。疑問点を整備しておく。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。社会福祉関連のニュースに関心を寄せ、目を通し自分なりの理解と説明ができる状態で主体的準備をする。

【主な関連する科目】 社会学、公的扶助論、社会保障論、福祉行財政論

【教科書等】 新・社会福祉士養成講座『現代社会と福祉』第4版（中央法規）

【参考文献】 児島明垂紀子編「現代社会と福祉」（東山書房）

【成績評価方法】 出席状況・レポート30%、期試験成績70%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

社会福祉に関する基盤となる科目です。自分の生活に重ね合わせながら、地域社会の中で起きている福祉問題に関心を寄せてください。事象の奥にある見えない要因を探ってください。

講義は板書を中心に行うので、しっかりノートをとることが大切です。しっかり講義を聴きノートをとることによって教科書の行間のメッセージまで理解できる力をつけてもらいたいです。